

富山の社会福祉史関係資料

A Review of the Literature on the History of Social Work in Toyama

宮田 伸朗

MIYATA Shinro

はじめに

「歴史とは現在と過去との対話である」¹⁾ という。日本国憲法第 25 条の理念（国家による国民の生存権保障）に基づいて展開されてきた日本の社会福祉は、2000（平成 12）年社会福祉法の施行を機軸とする社会福祉基礎構造改革により、歴史的な大転換を遂げてきた。バブル経済崩壊以降、経済のグローバル化と世界大不況、長引く日本経済の低迷と社会の閉塞状況、小家族化と単身世帯の増加など家庭機能の衰退、市街地の空洞化や限界集落など地域の絆の崩壊の中で、国民の生活をめぐる新たな福祉ニーズの発生と増大、多様化が進んでいる。一方、国と地方の財政逼迫からの脱却への道は遠く、政党間の多様な連立や政権交代の中で、既存の福祉制度・政策の見直しの方向性と内容は、相変わらず不透明のままである。鉄血宰相ビスマルクは「愚者は経験に学び、賢者は歴史に学ぶ」と述べ、英国の首相チャーチルは「過去を遠くまで振り返ることができれば、未来をそれだけ遠くまで見渡せるだろう」と述べたという。将来への不安と混迷の時代こそ、原点に立ち戻ること、先人の歩みに学ぶことが大切である。

社会福祉法の基本理念は、「個人の尊厳の尊重」（社会福祉法第 3 条）と「地域福祉の推進」（同法第 4 条）である。明治以降の「富国強兵」と近代化の中で、全国各地で多くの宗教家や有産者、地域住民の手によって起こされ推進されてきた慈善事業、1930 年代の世界恐慌を機に本格化した戦前の社会事業のあゆみは、日本の社会福祉の源流であり、地方各地にその営みを見ることができ。それらは、戦後日本国憲法下における公的な制度的福祉の構築と発展への土台をなすものであり、今日の社会福祉の営みと連続性を持つものでもある。

「社会福祉史」の教育・研究は、1987（昭和 62）年社会福祉士資格制度創設の際、「社会福祉史」が国家試験科目に含まれなかったこともあって、福祉関係者の間でも関心を向けられることが少なくなっている。地方における社会福祉の歴史は、それぞれの地方において顧みられるのが通例であるが、富山における社会福祉史に関する資料・文献についても、教育や研究の対象とされる機会は少ないように思われる。

本稿では、筆者がこれまでに把握してきた富山の社会福祉の歩みに関する資料・文献等、および社会福祉法人富山県社会福祉協議会が保存する資料・文献等を整理し、今後の富山の社会福祉史研究への足がかりを提示しようとするものである。

1. 資料・文献の概要

本稿で取り上げる富山の社会福祉の歩みに関する資料・文献の概要は、次のとおりである。

- (1) 著書・論文・報告等
- (2) 施設・団体等の記念誌
- (3) 個人の回顧録・伝記等
- (4) 事典
- (5) その他

2. 資料・文献のリスト

(1) 著書・論文・報告等

富山の社会福祉史に関する著書・論文・報告等には、富山の社会福祉の歴史のみを対象にしたもの、県域を越えた北陸・北信越の社会福祉の歴史の中で、富山の歴史に触れているもの、全国の歴史の中で取り上げているものなどがある。現時点までに把握している件数は、多くない。著作そのものが少ないのか、発掘されていないものが一定数存在するのかは、わからない。

No.1 は、明治期から昭和初期にまで遡って、富山の社会事業、社会福祉施設の系譜を辿った論文で、富山の社会福祉の歴史を紐解いていく上での基軸となる労作である。No.2 は、加賀藩五代藩主前田綱紀の難民救済事業に端を発し、福井・石川・富山の北陸三県の地勢、仏教、産業形態の共通する背景を踏まえつつ、石川県の社会福祉の特徴に言及した報告である。No.3、No.4 は、北信越全域をフィールドに、各県の戦前の社会事業の足跡を丹念に発掘している矢上克己の労作である。地元富山での自前の発掘研究への取り組みを、福祉関係者に促す存在にもなっている。

表 1. 著書・論文・報告等

No.	分野	タイトル	著者	発行所	発行年 月	備考
1	論文	富山県における戦後の社会状況の推移と社会福祉施設の消長	川崎幸一	富山女子短期大学	S59. 3	富山女子短期大学紀要第 19 輯
2	報告	北陸の福祉	中村正夫	1986 年国際社会福祉会議 北陸セミナー 実行委員会	S61. 9	「1986 年国際社会福祉会議北陸セミナー」資料集
3	単行本	富山県社会事業のあゆみ	矢上克己	清泉女学院短期大学叢書刊行会	H5. 3	「北信越社会事業のあゆみ」第 3 章
4	単行本	富山県社会福祉の展開	田代国次郎・ 矢上克己	社会福祉研究センター	H12. 9	「現代社会福祉史入門」第 2 部第 2 章

5	資料	北信越社会事業文 献・資料目録	矢上克己	北信越社会福 祉史研究会	H14. 3	「北信越社会福祉史 研究」第1号
---	----	--------------------	------	-----------------	--------	---------------------

(2) 施設・団体等の記念誌

施設・団体等の記念誌は、福祉施設や社会福祉法人などの団体の周年記念誌として取りまとめられたもので、周年記念事業の一環として関係機関等に配布されている。社会福祉の分野ごとに数多くの記念誌が刊行されているものと考えられるが、それぞれの関係機関・団体や個人に配布されることから、それらを網羅的に把握するには、相当の作業量と時間が必要となる。県・市町村の行政単位で、役所や社会福祉協議会ごとに集約するとともに、各分野の法人・施設・事業所からの資料・情報提供を依頼することで、かなりの数が把握できるものと思われる。

以下、社会福祉の各分野別に、書誌名等を列挙する。

① 児童福祉・保育・女性福祉

この分野は歴史も古く、宗教家や個人の篤志家、女性団体などの先駆的活動に端を発する施設が多い。このうち最も古い歴史を持つNo.4 は、明治期富山市内の宗教家などの手による貧民救済事業に端を発した教化・教護事業、No.6 は、戦前からの地域婦人会活動とその中での傑出したリーダーによる保育事業を淵源としている。No.1～3 は、戦災孤児救済に立ち上った尼僧（団）や地域婦人会による児童保護事業である。No.7～8 は職能団体、No.11 は当事者団体の書誌である。

表 2. 児童福祉・保育・女性福祉分野の記念誌等

No.	書誌名	版・総頁	発行所	発行年月	備考
1	三十年記念誌	B5 版・144 頁	社会福祉法人呉西 愛育会	S57. 5	P. 6～P. 38 創設・沿 革・回顧
2	創立 50 周年記念誌	A4 版・114 頁	(社)富山県呉西愛 育会 高岡愛育園	H15. 11	P. 4～P. 6 創設・沿革
3	慈光無限 谷口節道尼を偲んで	変 A4 版・245 頁	社会福祉法人ルン ビニ園	S62. 10	P. 231～P. 243 年譜
4	松風 創立 80 周年記 念誌	B5 版・71 頁	富山県立富山学園	H 元. 11	P. 19～P. 25 富山学 園のあゆみ
5	夏椿 創立 30 周年を 迎えて	B5 版・99 頁	富山県立砺波学園	H4. 10	
6	年輪 目でみる 70 年 の歩み	A4 版・30 頁	社会福祉法人伏木 保育園	H7. 6	P. 28～P. 29 沿革
7	40 周年記念 あゆみ	A4 版・326 頁	富山県保母の会	H9. 6	P. 92～P. 175 会報第 15 号～44 号
8	50 周年記念 あゆみ 夢を育て	A4 版・142 頁	富山県保育士会	H19. 5	P. 110～P. 121 公開 保育研究(集)会一覧 委託研究一覧

9	婦人保護事業 三十五周年のあゆみ	B5 版・156 頁	婦人保護富山県民 会議	H4	
10	地域に育って 50 年	A5 版・24 頁	伏木校下婦人会	H9. 11	P. 7～P. 9 活動年譜
11	創立 50 周年記念誌あ けぼの	A4 版・108 頁	(財)富山県母子寡 婦福祉連合会	H12. 11	P. 89～P. 93 年表

② 障害者福祉

この分野は、一般に「障害の三分野」として大別される。No.1～9 は知的障害分野で、数も多い。富山県内の知的障害者施設の数に対応するだけの記念誌等が発刊されているものと思われる。No. 11～12 は身体障害者施設、No.13 は精神障害者施設である。No.10、No.14～15 は障害や難病の当事者団体による書誌である。障害者分野では、障害に対する社会の無理解や行政施策の遅れの中で、事業や福祉施設を設立するに至った経緯やその後の発展経過が記されている。

表 3. 障害者福祉分野の記念誌等

No.	書誌名	版・総頁	発行所	発行年月	備考
1	セーナー苑のあしあ と	B5 版・179 頁	社会福祉法人セー ナー苑	S62. 3	
2	セーナー苑 施設整 備のあゆみ	A4 版・14 頁	社会福祉法人セー ナー苑	H12. 3	
3	セーナー苑 40 周年 記念誌 -10 年の歩 み-	A4 版・76 頁	社会福祉法人セー ナー苑	H18. 10	P. 14～P. 26 セーナ ー苑のあゆみ
4	新川むつみ園十周年 記念誌	B5 版・145 頁	新川むつみ園	H3. 11	
5	創立 30 周年記念誌・ 生きがいをもとめて	B5 版・46 頁	富山県立新生園	H4. 11	P. 32～P. 35 年表
6	溪明園 10 周年記念 誌・10 年のあゆみ	B5 版・101 頁	社会福祉法人溪明 会溪明園	H7. 4	
7	めひの野園 20 周年記 念誌	A4 版・93 頁	社会福祉法人めひ の野園	H14. 6	P. 90～P. 92 年表
8	10 年のあゆみ	A4 版・23 頁	いみず苑 いみず 苑作業所	H17. 9	
9	あざみ園 20 周年記念 誌	A4 版・132 頁	社会福祉法人 恵 風会	H19. 10	P. 1～10 あざみ園 20 年のあゆみ
10	和 協会 40 年のあゆ み	変 A4 版・61 頁	高岡市身体障害者 協会	H2. 7	
11	30 周年記念 志貴野	A4 版・62 頁	(社)高岡市身体障 害者福祉会	H10. 1	

12	40周年記念 志貴野	A4版・93頁	社会福祉法人 高岡市身体障害者協会	H20.1	
13	10周年記念誌 あしつきふれあいの郷	A4版・43頁	社会福祉法人あしつき	H21.12	P.32～P.39 10年のあゆみ
14	創立40周年記念誌 惑わず	B5版・108頁	社団法人富山県手をつなぐ育成会	H9.11	P.40～P.56 40年のあゆみ
15	40年のあゆみ	A4版・221頁	NPO法人富山県腎友会	H22.9	P.51～P.120 系統組織の動きと成果(年表)

③ 高齢者福祉

この分野は、既出の児童・保育・女性福祉、障害福祉分野に対して、後発の分野である。1989(平成元)年のゴールドプラン(高齢者保健福祉推進10か年戦略)以降、介護保険制度の創設に伴い、高齢者福祉施設・事業は飛躍的に増大しているが、歴史が浅い分だけ周年記念誌等の把握数は少ない。その中においてNo.2は、富山県内では設立経過、事業展開、経営規模などにおいて、後発事業者を圧倒する勢いを持つ団体で、他誌には類を見ない資料・記述がされている(下記一覧表「備考欄」参照)。高齢者福祉分野は事業者数が多く、事業主体も多様であり、今後時間経過とともに多種多様な書誌が発行されていくものと考えられる。また既出の分野に比べて、当事者団体によるものが把握されておらず、今後の課題である。

表4. 高齢者福祉分野の記念誌等

No.	書誌名	版・総頁	発行所	発行年月	備考
1	きらら10周のあゆみ	A4版・74頁	社会福祉法人城端福祉会 特別養護老人ホームきらら	H16.3	P.10～P.12 沿革 P.28～P.31 10年のあゆみ
2	社会福祉法人新川老人福祉会30周年記念誌	A4版・143頁	社会福祉法人新川老人福祉会	H17.8	P.140～P.141 主な介護サービスの形態 別利用状況 P.142～P.143 経営状況の推移
3	記念誌こぶし～新たな出発～	A4版・69頁	社会福祉法人大門福祉会 特別養護老人ホームこぶし園	H17.8	
4	開設20周年記念誌すわ野	A4版・67頁	社会福祉法人ひみ福祉会 特別養護老人ホームすわ苑	H18.8	

④ 地域福祉

この分野は、今日の民生委員制度の前身である大正期の方面委員制度に源流を見ることができ、長い歴史と伝統を有する分野である。No.1 には、戦前の方面委員時代の活動事例や諸規定なども記載されており、地域福祉の先人たちの志や献身を窺い知ることができる。No.4～7 は、県・市社会福祉協議会の周年記念誌で、戦後の混乱期から高度成長を経て、今日の少子高齢化社会に至る地域福祉の取り組みについて記されている。社会福祉協議会は、地域福祉を推進する団体として各市町村に組織されているが、富山県社会福祉協議会に保存されている書誌類は、その一部である。2005（平成 17）年の「平成の大合併」以前は、県内 35 市町村に社会福祉協議会が組織されていたことからすれば、資料の散逸が懸念される。

表 5. 地域福祉分野の記念誌等

No.	書誌名	版・総頁	発行所	発行年月	備考
1	富山県民生委員の歩み	A5 版・152 頁	富山県社会福祉協議会	S53. 3	
2	民生委員制度創設 80 周年記念誌 富山県民生委員制度の 80 年	A4 版・181 頁	富山県民生委員児童委員協議会	H10. 3	P. 169～P. 179 年表
3	創立 20 周年記念誌 あゆみⅡ	A4 版・81 頁	富山県民生委員児童委員協議会	H18. 2	P. 58～P. 69 民生児童委員の状況と活動状況
4	年表 昭和のあゆみ 富山県の社会福祉	変 A4 版・92 頁	富山県社会福祉協議会	H4. 3	
5	四十年の歩み	A4 版・225 頁	(社)高岡市社会福祉協議会	H4. 2	P. 90～P. 136 創立 40 周年関係年表
6	50 年のあゆみ	A4 版・148 頁	(社)富山市社会福祉協議会	H13. 12	P. 122～134 年表
7	50 年のあゆみ	A4 版・120 頁	(社)氷見市社会福祉協議会	H14. 5	P. 98～P. 101 年表

(3) 個人の回顧録・伝記等

社会福祉の事業や活動に携わった個人が自身の歩みを回顧・紹介したもののほか、記録・執筆者が個人に取材して記述したものがある。No.1 は明治中期に出生以来、時代の変動とともに生きてきた個人の活動を丹念に記したもの、No.5 は市長として、晩年には福祉法人理事として、高齢者福祉、地域福祉にかけた活動と人となりについての記録である。必ずしも社会福祉のプロパーではないが、社会福祉の一翼を担った先人の人物伝として注目される。No.2 と No.4、No.6 は、富山の戦後社会福祉事業の中でも卓抜した経営者、西浦博良氏と林照夫氏の記録である。No.3 はこれら

とはやや趣が異なり、富山の感化院の創設者柴谷龍寛の足跡に始まり、感化院で園生と生活を共にした小澤梅子の口述などを記録し、貴重な写真と資料も掲載されている。

表 6. 個人の伝記・回顧録等

No.	書誌名	版・総頁	著者・発行所	発行年月	備考
1	小さな私の足あと	A4 版・90 頁	河上喜一	H7. 9	方面委員・町社会福祉協議会長・特養ホーム理事長などの足跡
2	福祉を創造し夢を実現	B6 版・308 頁	塩川さとし・大田秋夫著 章文館	H10. 12	救護施設八尾園創設など西浦博良氏の足跡
3	感化院の記憶	変形 B5 版・378 頁	鈴木明子・勝山敏一著 桂書房	H13. 2	児童自立支援施設富山学園の歩み
4	林照夫著作集	A5 版・377 頁	林照夫著 (社)新川老人福祉会	H17. 12	特養ホーム新川ヴィーラ創設など林照夫氏の足跡
5	不惑～清河七良の生涯	A5 版・231 頁	清河七良の生涯編纂委員会 (社)新川老人福祉会	H17. 8	魚津市長・社会福祉法人理事長など清河七良氏の地域福祉活動の足跡
6	越中人の系譜IV わが半生の記	B6 版・263 頁	北日本新聞社	H20. 4	P. 125～P. 149 林照夫

(4) 事典

地元新聞社が編集・刊行した百科事典の項目に社会福祉関係の制度や機関・施設、個人などを取り上げて記述したものである。北日本新聞社の「富山大百科事典」上・下各 1 巻²⁾は、全 9, 866 項目のうち 410 項目を「医療福祉」分野で計上している。社会福祉の分野では、4 名の個人が紹介されている。「医療福祉」分野以外にも、社会福祉に関連する個人があるものと思われるので、全面電子データ化されている事典上下 2 巻について、検索をかけることができれば、該当する人物の抽出は可能と思われる。個人以外にも、富山の社会福祉関係機関・施設・団体などの項目が多数あり、それらの歴史についても把握することができる。富山大百科事典の福祉分野の項目は、橋本石龍（富山県社会福祉協議会次長）、圓山洋子（富山中央児童相談所長）、宮田伸朗（富山女子短期大学教授）の 3 人の編集委員を中心に、富山の社会福祉の第一線で活動する多数の職員が執筆を担当している。そのような規模での編集・執筆事業は、空前絶後である。

なお、「富山大百科事典」は、北日本新聞社のウェブサイト Webun でも閲覧が可能であり、今後、電子データの改訂事業が構想されているとのことである。社会福祉史研究に活用できるようになることが期待される。

表 7. 富山大百科事典と社会福祉関係の人物

No.	書誌名	版・総頁	発行所	発行年月	備考
1	富山大百科事典（上）	B5 版・1074 頁	北日本新聞社	H6. 8	資料編 107 頁
2	富山大百科事典（下）	B5 版・1103 頁			
	* 社会福祉関係の人物	時期・業績等			
	在田如山 ありた・によさん	1858・12・29～1918・12・17（安政5～大正7）高岡養老院（老人福祉施設高岡市長生寮の前身）の創始者。			
	東 外枝 あずま・とし	1889・3・31～1976・7・26（明治22～昭和51）高岡市連合婦人会長として児童養護施設高岡愛育園・県立保育専門学院を開設。			
	堀田くに ほった・くに	1890・4・26～1985・8・10（明治23～昭和60）県内初の私設託児所（伏木保育園の前身）の創設者。			
	乗杉教存 のりすぎ・きょう そん	1876・6・29～1917・1・12（明治9～大正6）僧侶（そうりょ）・更生保護事業の先覚者。富山保護会（富山養得園の前身）の創設者。			

(5) その他

今回本稿では、把握・整理しなかったが、社会福祉史関係資料として富山県史はじめ各市町村史、地元新聞などがある。そのほかにも、県・市町村図書館、大学などの図書館などに所蔵されている文献資料の洗い出しも必要である。ちなみに、富山県立図書館のWebサイト「郷土資料情報総合データベース」で「福祉」をキーワードに検索したところ、社会福祉史関係資料のヒットは次の1件のみであった。

- ・「宇奈月町社会福祉協議会のあゆみ」、2006. 2、宇奈月町社会福祉協議会編

3. 富山の社会福祉史研究に向けて

富山の社会福祉史に関する研究者は、皆無といってよい。社会福祉関係者、行政や関係団体の関心も低い。社会事業の先進県長崎では、1997（平成9）年3月に長崎県社会福祉事業史編集委員会による「長崎県 福祉のあゆみ」³⁾A5版920ページの大著が、長崎県（長崎県社会福祉協議会）から発刊されている。

拙稿が、富山の社会福祉史研究始動への一歩となれば幸いである。

引用・参考文献

- 1) E・H・カー著、清水幾太郎訳『歴史とは何か』岩波書店、1962
- 2) 富山大百科事典編集委員会『富山大百科事典（上）（下）』北日本新聞社、1994
- 3) 長崎県社会福祉事業史編集委員会『長崎県福祉のあゆみ』長崎県、1997